

旭川市備蓄計画

旭川市防災安全部防災課

目 次

【本編】

1	策定した背景	1
2	基本的な考え	1
3	市民備蓄	2
4	事業者等の備蓄	3
5	備蓄・調達イメージ図	4
6	公的備蓄品目	5
7	公的備蓄数量	8
8	整備目標	15
9	流通在庫備蓄	17
10	災害対応従事者用の備蓄食料について	18
11	備蓄倉庫	18

【資料】

- ・避難所備蓄品一覧
- ・避難所以外備蓄品一覧

旭川市備蓄計画 本編

1 策定した背景

旭川市では、従来から災害発生時における備蓄品として、食料や生活必需品などを一定量備蓄してきた。しかしながら、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、各自治体において備蓄品の輸送等、様々な課題が浮き彫りとなり、この課題を早急に解決する必要があることが明白となったことから、災害対策基本法、旭川市防災基本条例、旭川市地域防災計画に基づき、今後の備蓄のあり方等に係る基本的な方針を示すため「旭川市備蓄計画」を策定することとした。

今後は、本計画に基づき、自助・共助を基本に、市民による日頃からの家庭内備蓄を推進するとともに、市民・事業者・市が、日頃からの備えや災害時の適切な対策を講じることができるよう体制を強化する。

なお、本計画は、今後5年ごとに見直しを行い、新たな課題が生じた場合には、その都度検討を加え修正する。

2 基本的な考え

旭川市では、備蓄に対する基本的な考え方を以下のように取りまとめ、この基本的な考え方に従って備蓄していくこととする。

1 市民備蓄・事業所等における備蓄の推進

自らの身は自ら守るのが防災の基本であり、平常時から災害に備え、各家庭や事業所等において最低3日以上（7日以上が望ましい）の食料、飲料水及び生活必需品等の備蓄を推進することとする。

2 事業所による流通備蓄

災害時に備えて民間事業者等とあらかじめ協定を結び、災害時に不足する食料等を避難所等へ迅速に配分する。

3 旭川市による備蓄

大災害や局地的な災害時に備えて常に必要な物資を避難所等に配備、配送できる環境を確保する。

3 市民備蓄

旭川市では、市民備蓄を推進している。より一層の市民備蓄の向上を目指して、積極的に広報や啓発を進めていくこととする。

★ ローリングストック法

家庭内備蓄については、普段から購入している飲料水や食料品等を計画的に使用し、使用した分だけ新たに買い足すという方法で最低3日分以上の備蓄を行う。

★ 各家庭において何が必要なのかを考え、災害時に備えて備蓄を行う。

★ すぐに必要なものは、非常持出品としてリュックサックなどに入れ、いつでも持ち出せる場所に置いておく。

★ 各家庭にある資機材は避難所で有効活用する。(キャンプ用品・バケツ・鍋など)

◆ 非常持出品の例

- ・飲料水（3日分以上）
- ・調理せず食べることができる食品（缶詰、お菓子、栄養補助食品、保存食など）
- ・懐中電灯、携帯ラジオ、携帯電話（非常用充電器）、乾電池、救急医療品、衛生用品、防寒用品、軍手、携帯トイレ、衣類（下着）、ハサミ、万能ナイフなど
- ・通帳、印鑑、キャッシュカード、保険証、運転免許証などの貴重品
- ・常備薬など

◆ 備蓄品の例

- ・飲料水、缶詰、レトルト食品などの食料品
- ・カセットコンロ（ボンベ）
- ・簡易トイレ
- ・衛生用品、ウェットティッシュ
- ・給水用ポリタンク

4 事業者等の備蓄

事業者等は、管理する施設の耐震性・耐火性の強化や事業所内収容物の転落防止などに取り組み、地震が発生した場合に応急処置を迅速かつ的確に講じることができるよう資機材を備蓄し、従業員を対象に防災訓練を実施する必要がある。また、管理する施設の利用者や従業員の安全確保に努めなければならない。

こうしたことから、事業者等に対して備蓄の推進を図るよう啓発を行う。さらに、災害時に事業を中断しないよう、又は中断した場合においてはできるだけ早期に再開できるように事業を継続する体制の整備に努める必要がある。

◆ 事業所等で用意することが望ましい例

- ・ 飲料水、従業員の食料（3日分以上）
- ・ 医薬品
- ・ 携帯トイレ
- ・ 防水シート
- ・ テント
- ・ ラジオ
- ・ 乾電池
- ・ ヘルメット
- ・ 軍手
- ・ 懐中電灯
- ・ 長靴
- ・ 防寒具（毛布・寝袋など）
- ・ 発電機

【保管場所】

- すぐに取り出せる場所
- 耐震性
- 分散化

考慮する必要がある。

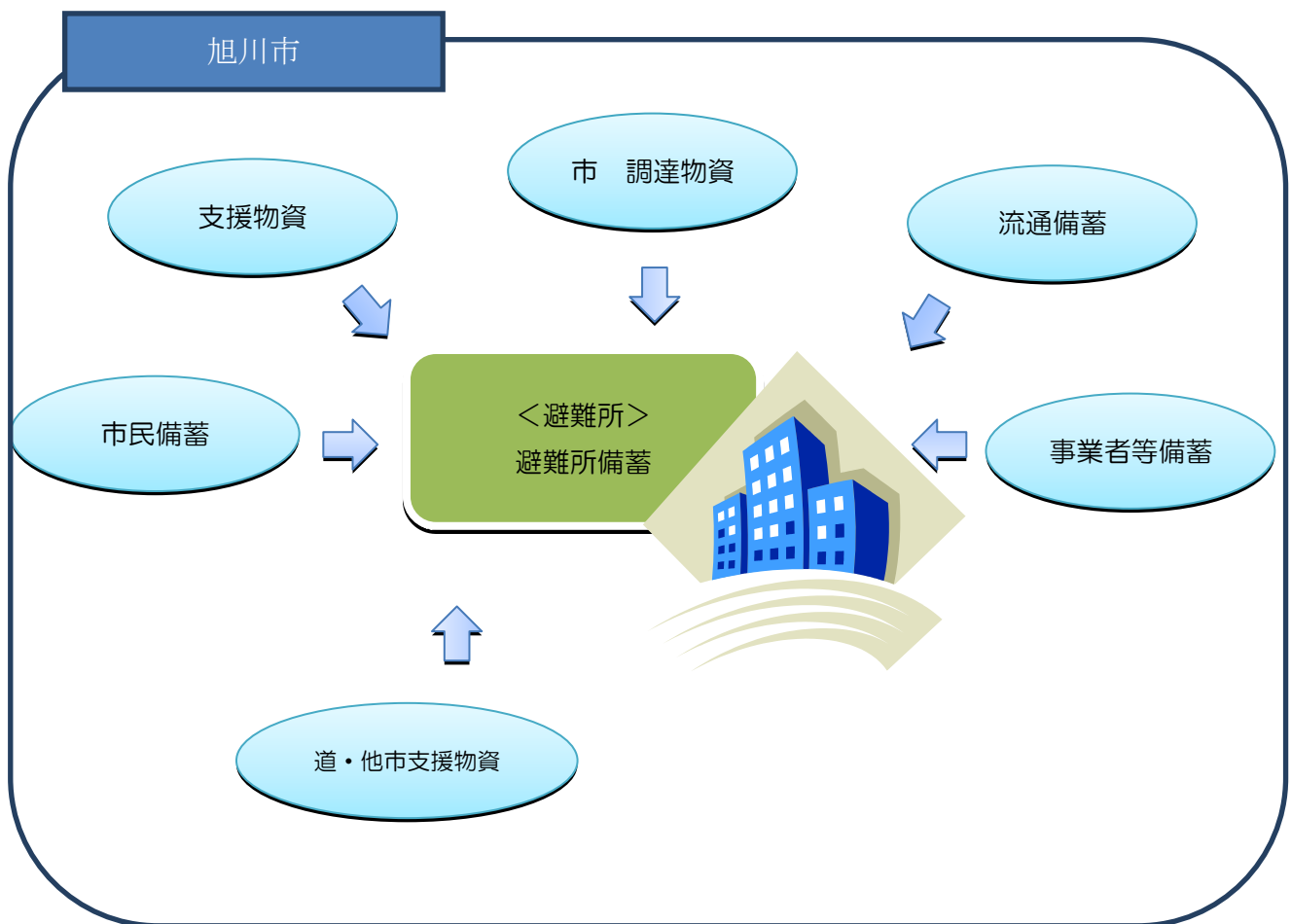
【更新】

- 食料などは、定期的な更新が必要である。

◆ 従業員が個人で用意することが望ましい例

- ・ 飲料水
- ・ 携帯電話（充電器含む）
- ・ 携帯ラジオ
- ・ 携帯食料

5 備蓄・調達イメージ図



旭川市備蓄計画

6 公的備蓄品目

(1) 食料品

備蓄の品目については、調理不要ですぐに提供できる物や食の多様化などを踏まえ、従来の計画から備蓄していたアルファ化米に加えて、ようかん、パン、粉ミルク、離乳食を備蓄品目に追加する。

配分対象者	品目	備考
避難者全員	アルファ化米（継続）	特定25品目を含まないアレルギー対応アルファ化米（従来からの備蓄を継続） 保存期限5年間
	ようかん（新規）	保存期限5年間
	パン（新規）	
	野菜ジュース（新規）	
乳幼児	粉ミルク（新規）	保存期限1年6ヶ月
	離乳食（新規）	保存期限5年間

(2) 生活必需品

備蓄の品目については、従来から備蓄していた災害用毛布、防災マット、災害用寝袋、簡易トイレに加えて、哺乳瓶、紙おむつ、生理用品、紙皿、紙コップ、割りばし、食品用ラップフィルム、トイレトペーパー、日用品セット（歯ブラシ・タオル）を備蓄品目に追加する。

配分対象者	品目	備考
	災害用毛布	
	防災マット	

旭川市備蓄計画

避難者	災害用寝袋	
	簡易トイレ（処理剤含む）	
	哺乳瓶（新規）	乳幼児用（1歳未満）
	紙おむつ（乳幼児用）（新規）	
	紙おむつ（大人用）（新規）	
	生理用品（新規）	
	紙皿（新規）	
	紙コップ（新規）	
	割りばし（新規）	
	食品用ラップフィルム（新規）	
	トイレットペーパー（新規）	
	日用品セット（歯ブラシ・タオル）	
	（新規）	

（3）避難所運営用資機材

避難所運営用資機材については、従来から備蓄していたコークスストーブ一式、コークス（燃料）、石油ストーブ一式、発電機などに加えて、カセットコンロを備蓄品目に追加する。

対象者	品目	備考
避難者	コークスストーブ一式	一式には、附属資機材含む
	コークス（燃料）	
	石油ストーブ一式	※1 燃料については、協定を活用 一式には、附属資機材含む

旭川市備蓄計画

	発電機	※1 燃料については、協定を活用
	大型救急箱	
	大型浄水器一式	
	ガソリン携行缶	
	投光器一式	
	コードリール	
	やかん	
	灯油タンク	
	灯油ポンプ	
	鍋	
	簡易水槽	
	生活用水資機材一式	
	給水ポンプ	
	カセットコンロ（新規）	※2 燃料については、協定を活用
	工具一式（新規）	

※1 平成23年12月19日 災害時における石油類燃料の優先供給に関する協定
（旭川地方石油販売業協同組合・旭川地方灯油小売商組合）

※2 平成22年9月30日 災害等の発生時における旭川市と社団法人北海道エルピーガス協会上川支部の応急・復旧活動の支援に関する協定
（社団法人北海道エルピーガス協会上川支部）

旭川市備蓄計画

7 公的備蓄数量

備蓄物資支給対象者については、「平成25年度旭川市防災アセスメント基礎調査」の旭川市直下仮想地震による避難者数の予測に基づいて算出し、想定ケースは被害が最も大きい場合の数字を備蓄物資支給対象者とする。

～平成25年度 防災アセスメント基礎調査より～

【備蓄物資支給対象者 = 37,700人】

【被災者への食料の供給】

総務省消防庁（2003）（東海地震に係る広域的な地震防災体制のあり方に関する調査検討報告書）は食料の給与数を避難所避難者数の1.2倍としている。

発災当日の避難所避難者数は37,700人であるので、上記に沿って算出すると1食相当で約45,000食が必要となる。

備蓄物資支給対象者数45,000人に配布する食料及び生活必需品の備蓄数量は、年代等を考慮して算定する。

なお、協定締結先からの供給や他都市からの応援の到着には発災後1～2日程度要するため、発災直後に不足する1日分（食料は3食分）について公的備蓄で補完し、不足分については家庭内備蓄等により補完する。また、各数値については、平成26（2014）年度版旭川市統計書による。

1 食料品

（1）配分する物資

年齢区分	人口割合	適用
1歳以上	98.7%	アルファ化米（継続）
		ようかん（新規）
		パン（新規）
1歳未満（新規）	1.3%	粉ミルク（新規）
		離乳食（新規）
全年齢（新規）	100%	野菜ジュース（新規）

【人口割合】 備蓄物資支給対象者45,000人に対する割合

（2）品目ごとの備蓄数

品名	算出	【備蓄数】	【目標値】
アルファ化米（拡充）	45,000人×98.7%	20,000食	45,000食
ようかん（新規）	=44,415人 44,415人×3食（1日分）	0食	45,000食
パン（新規）	≒135,000食 (133,245食)	0食	45,000食

旭川市備蓄計画

粉ミルク（新規）	45,000人×1.3%=585人 585人×8食（1日分） ≒5,000食（4,680食）	0食	5,000食
離乳食（新規）	45,000人×1.3%=585人 585人×5食（1日分） ≒3,000食（2,925食）	0食	3,000食
野菜ジュース（新規）	45,000人×100% =45,000缶	0缶	45,000缶

2 生活必需品

(1) 配分する物資

年齢区分	人口割合	適用
全年齢	—	災害用毛布
	—	防災マット
	—	災害用寝袋
	—	簡易トイレ
	—	紙皿（新規）
	—	紙コップ（新規）
	—	割りばし（新規）
	—	食品用ラップフィルム（新規）
	—	トイレットペーパー（新規）
	—	日用品セット（歯ブラシ・タオル）（新規）
1歳未満（新規）	1.3%（585人）	使い捨て哺乳瓶（新規） 幼児用紙おむつ（新規）
要介護3以上（新規）	1.8%（678人）	大人用紙おむつ（新規）
女性用15～54歳（新規）	23.5%（8,859人）	生理用品（新規）

(2) 品目ごとの備蓄数

品名	算出	【備蓄数】	【目標値】
災害用毛布・・・※1	45,000人×30%	4,800枚	13,500枚
防災マット・・・※1	45,000人×30%	4,800枚	13,500枚
災害用寝袋・・・※1	45,000人×30%	4,800枚	13,500枚

※1 災害用毛布・防災マット・災害用寝袋

旭川市備蓄計画

【住民の持参率】

阪神・淡路大震災時における毛布の持参率は、40%であった。（上川地域防災備蓄整備指針より）

結果、本市では45,000人×60%=27,000枚が必要となるが、東日本大震災で被災した石巻市（石巻市備蓄計画）では、約80%の避難者が非常用持出品を持参していることを考慮し、本市においては、約70%の住民が非常用持出品を持ち出してくると想定した。

その結果、45,000人×約30%の13,500枚を備蓄する。

品名	算出	【備蓄数】	【目標値】
簡易トイレ（拡充）	1 避難所 3 個（男 1・女 2） 130 避難所×3 個=390 個	100 個	390 個
紙皿（新規）	45,000 人×98.7% =44,415 人	0 枚 0 膳	135,000 枚 135,000 膳
紙コップ（新規）	44,415 人×3 食（1 日分） ≒135,000 枚・膳・個 (133,245 枚・膳・個)	0 個	135,000 個
割りばし（新規）			
食品用ラップフィルム (新規)	1 家族 4 人=1 本（1 日） 45,000 人÷4=11,250 本	0 本	11,250 本
トイレットペーパー (新規)	2 人 1 ロール（1 日） 45,000 人÷2 =22,500 ロール	0 ロール	22,500 ロール
哺乳瓶（新規）	45,000 人×1.3%=585 人 585 人×8 個（1 日分） ≒5,000 個 (4,680 個)	0 個	5,000 個
幼児用紙おむつ（新規）	1 日 10 回交換 45,000 人×1.3%=585 人 585 人×10 回≒6,000 枚 (5,850 枚)	0 枚	6,000 枚
大人用紙おむつ（新規）	1 日 5 回交換 45,000 人×1.8%=678 人 678 人×5 回≒3,500 枚	0 枚	3,500 枚

旭川市備蓄計画

要介護3以上	(3,390 枚)		
女性用生理用品 (新規)	1 か月 1 回 1 日 5 回交換 45,000 人×23.5% =10,575 人 10,575 人÷30 日≒352 枚 352 枚×5 回≒1,800 枚 (1,762 枚)	0 枚	1,800 枚
日用品セット (歯ブラ シ・タオル) (新規)	45,000 人=45,000 セット	0 セット	45,000 セット

3 避難所運営用資機材

【公的備蓄整備状況及び目標値】

品 目	整備状況	【目標値】
コークスストーブ一式	○避難所 45 か所 1 避難所 3 台整備 45 か所×3 台= 135 台	○避難所 45 か所 1 避難所 3 台整備 45 か所×3 台= 135 台
コークス (燃料)	○避難所 45 か所 1 避難所 45 袋整備 45 か所×45 袋=2,025 袋	○避難所 45 か所 1 避難所 45 袋整備 45 か所×45 袋=2,025 袋
石油ストーブ一式	○避難所 24 か所 1 避難所 2 台整備 ①24 か所×2 台=48 台 ○防災センター 6 台整備 ② 1 か所×6 台=6 台 ①+②=54 台	○避難所 24 か所 1 避難所 2 台整備 ①24 か所×2 台=48 台 ○防災センター 6 台整備 ② 1 か所×6 台=6 台 ①+②=54 台
発電機	○避難所 24 か所 1 避難所 3 台整備 ①24 か所×3 台=72 台 ○防災センター 14 台整備 ② 1 か所×14 台=14 台 ①+②=86 台	○避難所 45 か所 (拡充) 1 避難所 2 台整備 ①45 か所×2 台=90 台 ○避難所 24 か所 ②24 か所×3 台=72 台 ○防災センター 14 台整備 ③ 1 か所×14 台=14 台 ①+②+③=176 台

旭川市備蓄計画

大型救急箱	○避難所 8 か所 10 台	○避難所 8 か所 10 台
大型浄水器	○防災センター 2 台	○防災センター 2 台
浄水器	○避難所 33 か所 33 台	○避難所 33 か所 33 台
給水ポンプ	○避難所 33 か所 33 台	○避難所 33 か所 33 台
ガソリン携行缶	○避難所 24 か所 1 避難所 3 缶整備 ①24 か所×3 缶=72 缶 ○防災センター 14 缶整備 ② 1 か所×14 缶=14 缶 ①+②=86 缶	○避難所 45 か所 (拡充) 1 避難所 1 缶整備 ①45 か所×1 缶=45 缶 ○避難所 24 か所 1 避難所 3 缶整備 ②24 か所×3 缶=72 缶 ○防災センター 14 缶整備 ③ 1 か所×14 缶=14 缶 ①+②+③=131 缶
投光器	○避難所 24 か所 1 避難所 2 器整備 ①24 か所×2 器=48 器 ○防災センター 16 器整備 ② 1 か所×16 器=16 器 ①+②=64 器	○避難所 45 か所 (拡充) 1 避難所 2 器整備 ①45 か所×2 器=90 器 ○避難所 24 か所 1 避難所 2 器整備 ②24 か所×2 器=48 器 ○防災センター 16 器整備 ③ 1 か所×16 器=16 器 ①+②+③=154 器
コードリール	○避難所 24 か所 1 避難所 3 個整備 ①24 か所×3 個=72 個 ○防災センター 19 個整備 ② 1 か所×19 個=19 個 ①+②=91 個	○避難所 45 か所 (拡充) 1 避難所 2 個整備 ①45 か所×2 個=90 個 ○避難所 24 か所 1 避難所 3 個整備 ②24 か所×3 個=72 個 ○防災センター 19 個整備 ③ 1 か所×19 個=19 個 ①+②+③=181 個

旭川市備蓄計画

<p>やかん</p>	<p>○避難所 45 か所 1 避難所 1～2 個整備 ①54 個 ○防災センター 10 個整備 ②10 個 ①+②=64 個</p>	<p>○避難所 45 か所 (拡充) 1 避難所 1 個整備の避難所補充 ①36 個 (拡充) + 36 個 + 18 個 ○避難所 24 か所 (拡充) 1 避難所 2 個整備 ②24 か所×2=48 個 (拡充) ○防災センター 1 避難所 10 個整備 ③10 個 ①+②+③=148 個</p>
<p>灯油タンク</p>	<p>○避難所 24 か所 1 避難所 10 個整備 ①240 個 ○防災センター 30 個整備 ②30 個 ①+②=270 個</p>	<p>○避難所 24 か所 1 避難所 10 個整備 ①240 個 ○防災センター 30 個整備 ②30 個 ①+②=270 個</p>
<p>灯油ポンプ</p>	<p>○避難所 24 か所 1 避難所 2 個整備 ①48 個 ○防災センター 6 個整備 ②6 個 ①+②=54 個</p>	<p>○避難所 24 か所 1 避難所 2 個整備 ①48 個 ○防災センター 6 個整備 ②6 個 ①+②=54 個</p>
<p>鍋</p>	<p>○避難所 45 か所 1 避難所 2 個整備 ①45 か所×2 個=90 個 ○防災センター 10 個整備 ②10 個 ①+②=100 個</p>	<p>○避難所 24 か所 (拡充) 1 避難所 2 個整備 ①24 か所×2 個=48 個 ○避難所 45 か所 1 避難所 2 個整備 ②45 か所×2 個=90 個 ○防災センター 10 個整備 ③10 個 ①+②+③=148 個</p>
<p>簡易水槽</p>	<p>○避難所 45 か所 1 避難所 1～2 個整備 ①93 個 ○防災センター ②25 個 ①+②=118 個</p>	<p>○避難所 45 か所 1 避難所 1～2 個整備 ①93 個 ○防災センター ②25 個 ①+②=118 個</p>

旭川市備蓄計画

生活用水資機材一式	○避難所 45 か所 1 避難所 1 式整備 ①45 式 ○防災センター ②5 式 ①+②=50 式	○避難所 45 か所 1 避難所 1 式整備 ①45 式 ○防災センター ②5 式 ①+②=50 式
工具一式 (新規)	○整備なし	○避難所 69 か所 1 避難所 1 式整備 69 式
カセットコンロ (新規)	○整備なし	○避難所 24 か所 1 避難所 2 個整備 48 個

8 整備目標

整備目標は次のとおりとする。

1 食料品

(1) アルファ化米（拡充）・**ようかん（新規）**・**パン（新規）**

各45,000食を確保することにより、1日3食分の135,000食の確保を目標にする。
なお、5年間の賞味期限を有するもので、4年目の年度内において、地域の防災訓練や講習会などで使用する。

(2) **粉ミルク（新規）**

5,000食の確保を目標にする
なお、1年6ヶ月間の賞味期限を有するもので1年経過したものについては、関係部局などに提供使用する。

(3) **離乳食（新規）**

3,000食の確保を目標にする。
なお、5年間の賞味期限を有するもので4年目の年度内において、地域の防災訓練や講習会などで使用する。

(4) **野菜ジュース（新規）**

各45,000本の確保を目標にする。
なお、5年間の賞味期限を有するもので4年目の年度内において、地域の防災訓練や講習会などで使用する。

2 生活必需品

(1) 災害用毛布・防災マット・災害用寝袋（拡充）

災害用毛布・防災マット・災害用寝袋については、13,500枚の確保を目標にする。

(2) **紙皿（新規）**・**割りばし（新規）**・**紙コップ（新規）**

紙皿・割りばし・紙コップについては、135,000枚・膳の確保を目標にする。

(3) **食品用ラップフィルム（新規）**

食品用ラップフィルムについては、11,250本の確保を目標にする。

(4) **トイレトペーパー（新規）**

トイレットペーパーについては、22,500ロールの確保を目標にする。

(5) **哺乳瓶（新規）**

哺乳瓶については、5,000個の確保を目標にする。

(6) **幼児用紙おむつ（新規）**

幼児用紙おむつについては、6,000枚の確保を目標にする。

(7) **大人用紙おむつ（新規）**

大人用紙おむつについては、3,500枚の確保を目標にする。

(8) **女性用生理用品（新規）**

女性用生理用品については、1,800枚の確保を目標にする。

(9) **日用品セット（歯ブラシ・タオル）（新規）**

日用品セット（歯ブラシ・タオル）については、45,000セットの確保を目標にする。

3 避難所運営用資機材

コークスストーブを配置している45か所の避難所については、停電対策として発電機、投光器、コードリール及びガソリン携行缶を随時整備する。

石油ストーブを配置している24か所の避難所については、カセットコンロを随時整備する。

コークスストーブ及び石油ストーブを配置している69か所の避難所については、工具一式を随時整備する。

旭川市備蓄計画

9 流通在庫備蓄

◆流通備蓄に関する協定締結一覧

(平成 27 年 4 月 1 日現在：旭川市との協定)

協定名	協定内容	
災害時における応急生活物資の供給等に関する協定	応急生活物資供給	生活協同組合 市民生協コープ さっぽろ
		株式会社 西武百貨店
		株式会社イトーヨーカ堂
		イオン北海道 株式会社
		株式会社 MEGA ドン・キホーテ
		東旭川農業協同組合
		あさひかわ農業協同組合
		NPO 法人コメリ災害対策センター
		マックスバリュ北海道株式会社
協定名	協定内容	
災害時における石油類燃料の優先供給に関する協定	燃料物資供給	旭川地方石油販売業協同組合 旭川地方灯油小売商組合
災害等の発生時における旭川市と社団法人北海道エルピーガス協会上川支部の応急・復旧活動の支援に関する協定		社団法人北海道エルピーガス協会上川支部

10 災害対応従事者用の備蓄食料について

災害対応や非常時優先業務に従事する災害対応従事者用の備蓄食料については、市民への備蓄を最優先とするため、今後の検討課題とする。

11 備蓄倉庫

市立小中学校等の空スペースを利用した学校備蓄及び市有施設の備蓄を基本とするが、今後、校舎及び庁舎の新築や学校の建て替えの際には、各備蓄の目的に沿った備蓄専用の備蓄倉庫の整備、また、単独の備蓄倉庫を整備する必要がある。

旭川市備蓄計画 資料編

避難所備蓄品一覧

No	避難所	住所	アル ファ化 米 (食)	毛布 (枚)	防災 マット (枚)	寝袋 (枚)	大型救 急箱 (個)	コーク ストー ブー式	コーク ス	やかん	大鍋	生活用 水資機 材	浄水器	簡易水 槽	給水ポ ンプ	石油ス トーブ ー式	灯油タ ンク	灯油ポ ンプ	発電機	携行缶	コード リール	灯光器
1	日章小学校	6条通5丁目														2	10	2	3	3	3	2
2	新町小学校	4条西3丁目2番1号	1,500				1	3	45	2	2	1	1	1	1							
3	青雲小学校	曙1条2丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
4	知新小学校	8条通13丁目														2	10	2	3	3	3	2
5	朝日小学校	5条通21丁目	1,500	250			1	3	45	1	2	1		5								
6	千代田小学校	東光8条3丁目														2	10	2	3	3	3	2
7	東町小学校	豊岡3条1丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
8	豊岡小学校	豊岡10条3丁目														2	10	2	3	3	3	2
9	啓明小学校	南2条通22丁目														2	10	2	3	3	3	2
10	東栄小学校	東光4条6丁目														2	10	2	3	3	3	2
11	旭川第3小学校	東光8条8丁目1番21号														2	10	2	3	3	3	2
12	東光小学校	東光17条6丁目														2	10	2	3	3	3	2
13	共栄小学校	豊岡2条10丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
14	愛宕東小学校	豊岡7条9丁目						3	45	2	2	1	1	1	1							
15	愛宕小学校	豊岡8条6丁目														2	10	2	3	3	3	2
16	旭川小学校	東旭川町上兵村552番地														2	10	2	3	3	3	2
17	旭川第2小学校	東旭川町旭正236番地						3	45	1	2	1	1	1	1							
18	旭川第5小学校(併設 桜岡中)	東旭川町東桜岡72	50	50	50			3	45	1	2	1		5								
19	旭川第1小学校	東旭川町米原713番地	50	50				3	45	1	2	1		5								
20	大有小学校	旭町1条6丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
21	北光小学校	旭町1条16丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
22	大町小学校	大町1条1丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
23	近文小学校	緑町17丁目														2	10	2	3	3	3	2
24	北鎮小学校	春光6条6丁目1番1号						3	45	1	2	1	1	1	1							
25	高台小学校	春光台4条4丁目	1,500	250	250											2	10	2	3	3	3	2
26	春光小学校	末広1条1丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
27	末広小学校	末広6条2丁目														2	10	2	3	3	3	2

No	避難所	住所	アル ファ化 米 (食)	毛布 (枚)	防災 マット (枚)	寝袋 (枚)	大型救 急箱 (個)	コーク ストー ブー式	コーク ス	やかん	大鍋	生活用 水資機 材	浄水器	簡易水 槽	給水ポ ンプ	石油ス トーブ ー式	灯油タ ンク	灯油ポ ンプ	発電機	携行缶	コード リール	灯光器
57	びあふる岩山 (旧旭川第4小学校)	東旭川町豊田296-1																				
58	旧神居古潭小学校 (併設 旧神居古潭中)	神居町神居古潭638	50	50	50			3	45	1	2	1		5								
59	北都中学校	7条通16丁目																				
60	中央中学校	10条通11丁目						3	45	1	2	1		5								
61	東光中学校	東光8条2丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
62	光陽中学校	豊岡3条1丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
63	東明中学校	東光16条7丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
64	東陽中学校	豊岡2条7丁目																				
65	愛宕中学校	豊岡8条10丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
66	旭川第2中学校	東旭川町共栄284番地																				
67	旧旭川第1中学校	東旭川町米原						3	45	1	2	1	1	1	1							
68	旭川中学校	東旭川南1条6丁目																				
69	北門中学校	錦町15丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
70	啓北中学校	春光2条7丁目																				
71	北海道教育大学附属旭川中学校	春光4条2丁目																				
72	春光台中学校	春光台5条3丁目																				
73	六合中学校	末広3条2丁目																				
74	北星中学校	住吉5条1丁目																				
75	広陵中学校	末広2条7丁目						3	45	2	2	1	1	1	1							
76	東鷹栖中学校	東鷹栖4条5丁目																				
77	明星中学校	東5条1丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
78	永山中学校	永山7条19丁目						3	45	1	2	1	1	1	1							
79	永山南中学校	永山町5丁目	1,500	250	250		1															
80	神楽中学校	神楽6条12丁目	1,500	80			1															
81	緑が丘中学校	緑が丘3条4丁目																				
82	西神楽中学校	西神楽南2条4丁目																				
83	神居中学校	神居4条5丁目																				
84	神居東中学校	神居4条19丁目	3,000	500			2															
85	旧雨紛中学校	神居町雨紛		1,320	2,520	4,800		3	45	1	2	1	1	1	1							

No	避難所	住所	アル ファ化 米 (食)	毛布 (枚)	防災 マット (枚)	寝袋 (枚)	大型救 急箱 (個)	コーク ストー ブー式	コーク ス	やかん	大鍋	生活用 水資機 材	浄水器	簡易水 槽	給水ポ ンプ	石油ス トーブ ー式	灯油タ ンク	灯油ポ ンプ	発電機	携行缶	コード リール	灯光器
115	春光台地区センター	春光台3条5丁目																				
116	福祉村地域交流ホームYOU	春光台4条10丁目																				
117	末広地区センター	末広2条4丁目																				
118	東鷹栖農村活性化センター	東鷹栖10線16号																				
119	東鷹栖公民館第3分館	東鷹栖10線21号						3	45	1	2	1		5								
120	新旭川地区センター	東6条4丁目																				
121	永山住民センター	永山7条4丁目																				
122	永山新川管理センター	永山町13丁目																				
123	神楽岡地区センター	神楽岡12条2丁目																				
124	緑が丘住民センター	緑が丘3条3丁目																				
125	西神楽公民館就実分館	西神楽1線31号																				
126	西神楽農業構造改善センター	西神楽南2条3丁目																				
127	神居住民センター	神居2条17丁目																				
128	神居公民館上雨紛分館	神居町上雨紛																				
129	西神居会館	神居町神居古潭																				
130	忠和地区センター	忠和5条5丁目																				
131	末広活動センター「あつま〜る」	末広東2条9丁目														2	10	2	3	3	3	2
		合計	15350	3500	3770	4800	10	135	2025	54	90	45	33	93	33	50	250	50	75	75	75	50

避難所以外備蓄品一覧

No	名称	住所	アル ファ化 米 (食)	毛布 (枚)	防災 マット (枚)	大型浄 水器	簡易ト イレ	やかん	大鍋	簡易水 槽	生活用 水資器 材一式	石油ス トープ 一式	灯油タ ンク	灯油ポ ンプ	発電機	携行缶	コード リール	灯光器
1	東鷹栖支所	東鷹栖4条3丁目	100	100	100													
2	旭川市総合防災センター	東光27条8丁目	4,550	1,200	930	2	100	10	10	25	5	4	20	4	11	11	16	14
		合計	4,650	1,300	1,030	2	100	10	10	25	5	4	20	4	11	11	16	14

旭川市備蓄計画

平成27年（2015年）12月

〒078-8367

旭川市東光27条8丁目

旭川市防災安全部防災課

TEL 0166-33-9969
